

世界のトップバッグブランド『小野正人』を 京都から輩出する

平成23年度 採択事業

株式会社 小野祥子商店

代表取締役

小野祥子さん



小野 祥子さん

彫刻家から鞆作家へ

株式会社小野祥子商店は、現代日本彫刻展で入賞するなど彫刻家として第一線で活躍していた小野正人さんが、デザインから製造までを一手に手掛けるバッグブランド「小野正人」を企画運営しています。

美大で彫刻を学んだ正人さんは、卒業後も滋賀県に工房を構え彫刻家として活動しますが、日本で彫刻を生業にすることの難しさに直面します。作りたいものを作って売ることが簡単にはできないもどかしさの中、それでもものづくりを続けたい、という想いから、一念発起して鞆作りを始めたそうです。

もともと鞆にも興味があり、学生時代には友人に作って売っていたこともあるという正人さん。2007年にバッグブランドを創業してから約4年間は、手づくり市などで主にオーダーメイドの鞆を販売してきました。現在は、奥様でもある小野祥子さんが経営者となり、財務・経理、広報、マーケティング、海外戦略など経営全般を受け持ち、正人さんはデザインと製造に専念できる体制になったそうです。「当社の鞆は、彫刻家のキャリアを活かし、骨組みの金具から自社でデザイン・製造するという、世界的にも珍しい鞆です。」と祥子さん。2011年7月に法人設立、同年9月に西陣に工房兼直営店舗を構えました。



がま口が全開する独自の形状のトラベルバッグ

ファンドをきっかけに事業の見直しが成功へ

「応援ファンドは事業の方向性を大転換する良いきっかけでした。誰もが応援したくなるような事業内容にしようと思いました。」と祥子さん。創業当時から「世界最高峰のバッグブランド『小野正人』という最終的な目標掲げる二人は、まず「パリコレに行く」という驚

伝統製品の活用



パリのブルミエール・クラスでの出展風景

くべき目標をたてます。目標が決まれば、あとは行動あるのみ。早速 JETRO に問合せ、「パリコレに出たいが、どうしたら良いか？」と率直に尋ねたそうです。商品写真を送ると、「これはブルミエール・クラスですね」との回答。ブルミエール・クラスとは、パリのファッション・ウィーク中に開催される、アクセサリ小物では世界最高峰の展示会と言われ、世界中で難関の審査を通過したブランドのみが出展できます。

バッグブランド「小野正人」も、パリと東京での選考を経て、最終審査では展示会主催者から「久しぶりに作品を見て感動した。」と高い評価を受けたとのこと。2011年10月に最終審査を通過し、翌年3月にブルミエール・クラスに初出展しました。バッグ部門は、日本では2ブランドのみの出展だったそうです。二回の出展の結果、ニューヨーク、パリ、イタリア、スイスのセレクトショップ4社との取引が成立しました。

当初から世界を見据えていた二人は、パリコレ出展という目標を達成するために現状の課題に真摯に向き合ったことで方策が明確になり、一年という短期間で最良の結果に繋がったと振り返ります。また、ファンドに採択されたことで工業用の特殊マシンが数台購入でき、幅広い商品開発が可能となり、コレクションのラインナップが充実したそうです。

西陣を拠点に日本全国、そして世界へ

「主人の生まれ育った京都の西陣で腰を据えて制作と販売ができる場所を探していました。またここ西陣は、職人の町のイメージがありますし、デザイナーが自ら制作するスタイルの当社のブランドコンセプトと重なる部分もあります」と祥子さん。鞆の素材はすべて日本製のものを厳選して使用します。彫刻家として滋賀の工房で活動していたころ、落ち穂をついばむカラスを見てデザ

イン画におこし、それが現在、鞆の主な生地として使っているカラス柄の西陣織になりました。日本人の感性や文化に根ざし、見たものや経験したことが表現されるものづくりをしたい、それに高い技術と品質が備わることによって世界的に類を見ないバッグブランドになると考えています。今はデザインと製造を二人で行っていますが、近い将来、製造を任せられる職人を育て、正人さんがデザインに専念できるように体制を整えたいそうです。また、年二回のブルミエール・クラスは継続しながら、国内にもう一店舗直営店をオープンし、海外では常時15社程と契約が取れるようになることが次の目標とのこと。ものづくりに対する確かな自信と世界水準の目標を基に、二人三脚で足元を固めながら、バッグブランド「小野正人」を西陣から日本全国、そして世界へと発信しているのです。



2011年9月西陣にオープンした直営店舗、表には小野正人の原点でもある彫刻作品が存在感を見せている

事業概要

京都鞆店「小野正人」

<http://onomasato.com/>

代表：小野 祥子

業種：鞆製造販売業

創業：平成19(2007)年 設立：平成23(2011)年

住所：〒602-8444 京都市上京区西北小路町237

TEL：075-201-7620 FAX：075-201-7620